

親しみやすい愛称で街の中を走り回るコミュニティバス

千葉商工会議所

| | | | |
|----------------|--------------------------------------|------------------|--|
| 機関名 | 千葉商工会議所 | | |
| 所在地 | 千葉県千葉市中央区中央2-5-1 | | |
| 電話番号 | 043-227-4101 | | |
| 地域概要 | (1)管内人口 90万6千人 | (2)管内商店街数 121商店街 | |
| 事業の対象となる商店街の概要 | (1)商店街数 13商店街 | (2)会員数 764商店 | |
| | (3)空店舗率 4.48% | (4)大型店空き店舗数 2店 | |
| 商店街の種類 | 1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街 | | |

【事業名と実施年度】

平成12年度 駐車対策事業
総事業費

循環バス運行
11,200千円

【事業実施内容】

1. 背景

JR千葉駅周辺は百貨店、大型専門店等が集中し、また、鉄道、モノレール、バスのターミナルとなっているため、一極集中の傾向を強めている。このため、駅周辺地域では、交通集中による渋滞が常に発生する状況となり、車両使用者の便宜性を損ない、また、経済の効率的活動を妨げる状況にある。

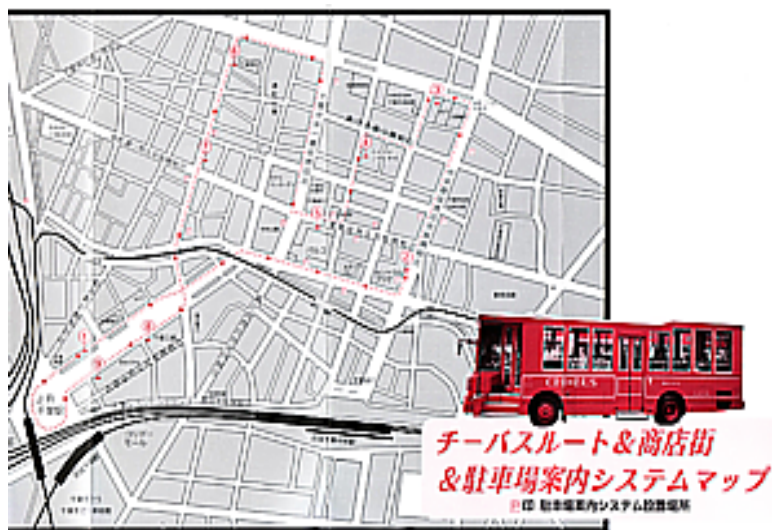
一方、旧来の中心部商店街は、小規模店舗が多く、駅からも距離があり、また独自の駐車場を備えているケースも少ない。

これらの課題を是正するため、平成9年度に実施した公共駐車場を活用したパーク＆ライド方式の駐車対策事業の成果を踏まえ、中心街区の回遊性確保、商店街活性化と交通渋滞の緩和を目的として無料循環回遊バス“チーバス”の運行を実施したものである。

2. 事業の内容

無料循環回遊バス“チーバス”の運行期間は平成12年9月1日から同13年3月31日まで（水曜日運休）であった。

なお、チーバスは当事業終了日の平成13年3月31日をもって、当事業終了とともに運行を取り止めている。



無料循環バス“チーバス”の運行ルート
(千葉市中央区商店街協議会 HP より)

(1) 委員会の開催

商店街駐車対策事業（チーバス）委員会を組織し、委員長に商工会議所常務理事、副委員長に千葉市経済振興課長が就任し、チーバス運営等の調整等を行った。

(2) バス運行事業

チーバスの運行を京成電鉄（株）に委託し、毎日 16 本の運行（1 周 30 分、1 時間に 2 本）を実施した。



チーバス

(3) 案内パンフレット作成配布

チーバスの時刻表、停留所、運行ルート、各商店街、駐車場案内を記したパンフレットを 2,000 部作成し、千葉市役所、千葉市観光協会、商店街、大型店、駐車場等で配布した。

(4) 乗降客数・乗客アンケート調査

平成 12 年 12 月 20 日（日）～26 日（土）の 6 日間（運休日の水曜日除く）

1) 乗降客数調査を実施...1 日平均 222 人の利用があった。

平成 13 年 1 月 21 日（木）～24 日（日）の 4 日間

2) アンケートの実施...市民へのバスの定着が見られた。

(5) 報告書作成

当事業に関する事業報告書を作成した。

【 効 果 】

(1) 平成 6 年のチーバス運行開始時は大変な話題になった。今回の事業では、新たに市公社駐車場、千葉神社の 2 停留所を加えたことにより、来街者に利便（回遊）性が増し、街の歴史や文化を身近に感じてもらい、潤いのある都市型生活の場を提供したものである。

(2) 商店街への波及効果は、直接的に売上をあげる程ではなかった。しかし、チーバスの運行は、商店街の活力を支える効果や交通混雑の緩和には効果があったのではないかとはいえない。赤いレトロ調の車両は、街に溶け込んでいた。



チーバス(レトロな車内)

【 課題 ・ 反省点 】

運行費用がかかりすぎるのが、まず第一の問題点であった。その問題に対応するため、乗車料金有料化の検討がなされたが、利用者も無料に慣れてしまっていたこともあり、「有料になれば利用しない」とのアンケート調査の回答が大部分であった。

コミュニティバスを運営するのであれば、いかに採算性をとる仕組みを作るか、それが課題である。

【 関連 U R L 】

千葉商工会議所

<http://www.chiba-cci.or.jp/>



赤くレトロな雰囲気の子ーバス



利用者が続々と乗り込む